

LPIC / LinuC の概要

LPIC (エルピック) および LinuC (リナック) は、特定非営利活動法人エルピーアイジャパン (以下、LPI-Japan) が実施している Linux 技術者のための認定試験です。

LPIC は、全世界共通の Linux の技術レベルを評価する認定資格です。

LinuC は、LPI-Japan が 2018 年 3 月より提供する Linux 技術者のための日本の市場に最適化した新しい認定試験です。

LPIC と LinuC は 2018 年 2 月現在、試験範囲および試験体系は同じです。

LPIC / LinuC の種類と試験科目

LPIC および LinuC は、レベル 1 からレベル 3 まで 3 段階に分かれており、レベルが上がるに従って難易度は高くなります。レベル 1 は初級者、レベル 2 は中級者、レベル 3 は上級者とみなすことができます。Linux 経験年数の目安としては、レベル 1 では半年～1 年程度、レベル 2 では 3～4 年程度とされています。認定はレベル順に取得する必要があり、レベル 2 の認定には有意なレベル 1 の認定が、レベル 3 の認定には有意なレベル 2 の認定が必要です。

表 1 LPIC / LinuC の試験体系 (2018 年 2 月現在)

認定名	試験の正式名称	レベル
LPIC レベル 1 LinuC レベル 1	101 試験 102 試験	Linux システムの構築・運用・管理
LPIC レベル 2 LinuC レベル 2	201 試験 202 試験	Linux サーバやネットワークを含むシステムの構築・運用・保守
LPIC レベル 3 LinuC レベル 3	300 試験 (混在環境) 303 試験 (セキュリティ) 304 試験 (仮想化&高可用性)	各分野の最高レベルの技術力を持つ専門家

レベル 1 およびレベル 2 の認定を取得するには、各レベルで必要とされる 2 つの試験に合格しなければなりません。

レベル1の概要と出題範囲

LPIC／LinuCレベル1に認定されるには、それぞれの101試験と102試験に合格する必要があります(例えば、LinuCレベル1の認定のためには、LinuCレベル1の101試験、102試験の2試験の合格が必要)。

レベル1の最新バージョンは、2015年6月1日にリリースされたVer4.0です。Ver4.0の試験概要および出題範囲は下記のとおりです。

なお、LPIC／LinuCの試験概要・試験範囲は同じです。

表2 101試験の概要

出題数	約60問
制限時間	90分
合格に必要な正答率	65%前後 ※推定値
試験範囲	主題101：システムアーキテクチャ 主題102：Linuxのインストールとパッケージ管理 主題103：GNUとUnixのコマンド 主題104：デバイス、Linuxファイルシステム、ファイルシステム階層標準

表3 102試験の概要

出題数	約60問
制限時間	90分
合格に必要な正答率	65%前後 ※推定値
試験範囲	主題105：シェル、スクリプト、およびデータ管理 主題106：ユーザインターフェイスとデスクトップ 主題107：管理業務 主題108：重要なシステムサービス 主題109：ネットワークの基礎 主題110：セキュリティ

LPIC／LinuC試験では、それぞれの課題に重要度が付けられています。

レベル1試験の各課題の重要度は、次のとおりです。試験範囲等は変更される可能性があるため、受験する際には下記のサイトで最新情報を確認してください。

LPIC <https://lpicj.org/>
 LinuC <https://linuc.org/>

表4 101試験の課題と重要度

主題	課題	重要度
主題101： システムアーキテクチャ	1 ハードウェア設定の決定と構成	2
	2 システムのブート	3
	3 ランレベル/ブートターゲットの変更とシステムのシャットダウンまたはリブート	3
主題102： Linuxのインストールと パッケージ管理	1 ハードディスクのレイアウト設計	2
	2 ブートマネージャのインストール	2
	3 共有ライブラリの管理	1
	4 Debianパッケージ管理の使用	3
	5 RPMおよびYUMパッケージ管理の使用	3
主題103： GNUとUnixのコマンド	1 コマンドラインの操作	4
	2 フィルタを使ったテキストストリームの処理	3
	3 基本的なファイル管理の実行	4
	4 ストリーム、パイプ、リダイレクトの使用	4
	5 プロセスの生成、監視、終了	4
	6 プロセスの実行優先度の変更	2
	7 正規表現を使用したテキストファイルを検索	2
	8 viを使った基本的なファイル編集の実行	3
主題104： デバイス、Linuxファイル システム、ファイルシステム 階層標準	1 パーティションとファイルシステムの作成	2
	2 ファイルシステムの整合性の保守	2
	3 ファイルシステムのマウントとアンマウントの制御	3
	4 ディスククォータの管理	1
	5 ファイルのパーミッションと所有者の管理	3
	6 ハードリンクとシンボリックリンクの作成・変更	2
	7 システムファイルの確認と適切な位置へのファイルの配置	2

表5 102試験の課題と重要度

主題	課題	重要度
主題105： シェル、スクリプト、 およびデータ管理	1 シェル環境のカスタマイズと使用	4
	2 簡単なスクリプトのカスタマイズまたは作成	4
	3 SQLデータ管理	2
主題106： ユーザインターフェイスと デスクトップ	1 X11のインストールと設定	2
	2 ディスプレイマネージャの設定	1
	3 アクセシビリティ	1

主題	課題	重要度
主題 107： 管理業務	1 ユーザアカウント、グループアカウント、および関連するシステムファイルの管理	5
	2 ジョブスケジューリングによるシステム管理業務の自動化	4
	3 ローカライゼーションと国際化	3
主題 108： 重要なシステムサービス	1 システム時刻の保守	3
	2 システムのログ	3
	3 メール転送エージェント(MTA)の基本	3
	4 プリンタと印刷の管理	2
主題 109： ネットワークの基礎	1 インターネットプロトコルの基礎	4
	2 基本的なネットワーク構成	4
	3 基本的なネットワークの問題解決	4
	4 クライアント側のDNS設定	2
主題 110： セキュリティ	1 セキュリティ管理業務の実施	3
	2 ホストのセキュリティ設定	3
	3 暗号化によるデータの保護	3

■ 受験の申し込みから結果の確認まで

受験の申し込み

受験の申込は、試験配信会社(テストセンター)の「ピアソンVUE」で行います。

受験予約の際には、LPIC 受験の際には、「LPI」から始まるEDUCO-IDが必要で、LinuC 受験の際には、「LPI」もしくは「EID」から始まるEDUCO-IDが必要です。いずれもIDを取得したら「受験者マイページ」にログインします。

予約の方法は、いずれも① Webサイトから予約する、②電話で予約するの2種類があります。団体受験用にペーパーテスト(PBT)も用意されています。

予約方法の詳細は下記を確認してください。

LPICの申し込み

<https://lpicj.org/exam/>

LinuCの申し込み

<https://linuc.org/exam/>

受験

受験当日、テストセンターでの受付から試験終了までの流れを、ピアソンVUEのサイトから動画で確認することができます。受験前に確認しておくようにしましょう。

受験当日のテストセンターでの流れ

<https://www.pearsonvue.co.jp/test-taker/Security.aspx>

試験の終了と採点

試験が終了すると、すぐに得点と合否が表示されます。試験結果のレポートは印刷されているので、受付で受け取ってください。

再受験(リテーク)ポリシー

不合格の場合は、再試験を受ける際のリテークポリシーに注意してください。詳しくはLPI-JapanのWebページで確認してください。

試験に合格したら

101試験と102試験の両方に合格すると、下記の合格証明証等が郵送されます。

LPIC：認定証(認定日から3～4週間程度)

LinuC：認定証、認定カード、認定ロゴシール(認定日から2～3週間程度)

試験終了後、特に手続きをする必要はありません。

なお、認定には有効期限がありません。一度合格すれば再試験を受ける必要はありませんが、最新の技術動向に対応できているかどうかの判断基準として、有意性の期限(5年)が定められています。LPIC、LinuC共に、認定日から5年以内に、各資格毎に、同一レベルの認定を再取得もしくは上位レベルを取得することで、「ACTIVE」な認定ステータスを維持することができます。

・詳しい内容についてのお問い合わせ

エルピーアイジャパン(LPI-Japan)事務局

TEL：03-3568-4482 FAX：03-3568-4483

<http://www.lpi.or.jp> E-mail：info@lpi.or.jp

・受験の申込についてのお問い合わせ

ピアソンVUE

<https://www.pearsonvue.co.jp/>

TEL：0120-355-173(受付時間：祝祭日を除く月～金曜日 9:00～18:00)

本書の使い方

本書は、本番試験に近い形の練習問題形式で構成されています。各章はLinuxの基本操作を順序だてて説明していますので、Linux 初学者は、101 試験の第1章からじっくりと読み進めてください。

また、各問題の試験における重要度を星の数で表示しています。Linux 経験者や試験傾向をすばやく把握されたい方、また試験の直前対策には、星3個の問題および模擬試験問題を重点的に確認することをおすすめします。なお、章問題の中には、類似問題の対策ポイントを「あわせてチェック!」として掲載しているので、読み落とさないようにしてください。

また、本書では試験対策のみならず、実現場で役立つ情報も本文および参考で記載していますので、ご一読ください。

検証環境

本書内では、主にScientific Linux 6、新トピックはCentOS 7、「第1部 101 試験」の第7章のDebian系パッケージ管理は、Ubuntu 14を使用して検証しています。

現在、上記以外にも多くのディストリビューションがリリースされていますが、同様の使い方ができるはずです。できれば学習の際に複数のディストリビューションで検証することをお勧めします。

本書記載内容に関する制約について

本書は、「Linux 技術者認定試験 (LPIC および LinuC) レベル1」の「101 試験」および「102 試験」に対応した学習書です。LPIC および LinuC は、特定非営利活動法人エルピーアイジャパン (以下、主催者) が運営する資格制度に基づく試験であり、下記のような特徴があります。

- ① 出題範囲および出題傾向は主催者によって予告なく変更される場合がある。
- ② 試験問題は原則、非公開である。

本書の内容は、その作成に携わった著者をはじめとするすべての関係者の協力 (実際の受験を通じた各種情報収集 / 分析など) により、可能な限り実際の試験内容に則すよう努めていますが、上記①・②の制約上、その内容が試験の出題範囲および試験の出題傾向を常時正確に反映していることを保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。